

## 第 599 回琵琶湖海区漁業調整委員会結果概要

◎第 599 回琵琶湖海区漁業調整委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

開催日時 : 令和 5 年 9 月 25 日 (月) 14:00 ~ 15:30

開催場所 : (一社)環びわ湖大学・地域コンソーシアム 会議室

出席者 : 委員 9 名、水産課 6 名、水産試験場 1 名、事務局 5 名

-----

### (1) 協議事項

#### ビワマス遊漁にかかる承認制度について

- ・ R 5-6 シーズンのビワマス遊漁にかかる承認制度について協議しました。
- ・ 委員からは、遊漁者の承認数が年々増加傾向にあることから、承認数を見直すことも必要ではないかとの意見がありました。事務局は、遊漁者の承認数はビワマスの資源状況を考慮して設定しており、漁業者が活用したビワマス資源の余剰分を遊漁に割り当てている。今後の資源状況や漁業との調整を踏まえながら遊漁の制度を検討することは当然であるが、現状では、昨年度と同じで承認数を 1,900 件に達した日までに受け付けた数以内としたいと回答しました。
- ・ 委員会では、事務局の説明した内容で委員会指示を発出することについて、異議無く同意されました。

### (2) 報告事項

#### 令和 5 年度のカワウ対策について

- ・ 水産課から令和 5 年度のカワウ対策について、県内のカワウの生息数 (18,254 羽) や営巣数 (5,158 巣)、滋賀県におけるカワウ対策事業等について説明がありました。
- ・ 委員からは、カワウの駆除に対して報奨金を出せば駆除がより進むのではないかとの意見がありました。水産課は、カワウの駆除に対する報奨金については、滋賀県カワウ被害防除対策事業でみられるようになっていることを回答しました。

### (3) 報告事項

#### (1) アユ資源の状況について

- ・ 水産試験場より、アユ資源の状況について、魚探による資源調査や産卵調査の結果について説明がありました。
- ・ 魚探による資源調査の結果、8 月の魚群数は 20 群 (平年比 14%) となり、今年の 2 月以降、魚群数が低位な状態が続いていること、8 月の推定資源尾数は 0.24 億 (平年比 21%) となり、資源尾数が低位な状態が続いているとの報告がありました。また、産卵調査の結果、第 2 次調査までの有効産卵数は平年値を下回る水準で推移しているが、最少となった 2017 年 (合計 2.7 億粒) ほど

低い水準ではないことが報告されました。